科目ナンバリング							
授業科目名<英訳>	ILASセミナー：研究プレゼンテーションの技法 ILAS Seminar :Art of presenting research			担当者所属職名・氏名	理学研究科　准教授　篠本　滋		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	受講定員(1回生定員)	25 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	教育院棟演習室23			使用言語	日本語
キーワード	プレゼンテーション / 研究発表 / 脳科学						

[授業の概要・目的]

私たちは自分の考えや自分の得た結果を社会に発信する必要があるが，そこでは目的，結果，意義を正確かつ明瞭に発信することが求められる．本セミナーでは研究発表の技法について実践的な演習を行う．

ここでは脳科学のテキストを学び，その内容について発表する．数人のグループにわけてプレゼンテーション資料を練りあげ，発表を行ってグループ間で互いに批判して改善を行う．

[到達目標]

・事実を正確に把握し，それに考察を加える．
・得られた知識・行った考察を的確にまとめる．
・自分が達した結論を正確に印象的に伝える．

[授業計画と内容]

第1-2回　プレゼンテーション技法についての学習を行う．
第3-7回　脳科学のテキストの輪読を行う．
第8-12回　グループごとにプレゼンテーション資料を作成し，発表会を行う．
第13-14回　発表の有効性について互いに批判し，改善して再発表する．
第15回　まとめ　（フィードバック週に行う）．

[履修要件]

テーマとして脳科学を扱うが，受講者は理系に限定はしない．前向きな取り組みを重視する．パソコンでパワーポイントを使えることは必要．

[成績評価の方法・観点]

討論への積極的な参加（４０点），発表への取り組みとその成果（６０点）．

[教科書]

Garr Reynolds『プレゼンテーションzen』（ピアソン桐原）ISBN:978-4894713284
ラマチャンドラン『脳のなかの幽霊』（角川書店）ISBN:978-4042982111

[授業外学修（予習・復習）等]

指定した図書を予習すること，学生同士で討論検討を行うことを求める．授業時間に加えて毎週討論や準備に1，2時間を投入することができる学生に受講していただきたい．

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]